

糸島新聞

地域と合同防災訓練

夜間出火を想定

篠原の里

糸島市篠原西の養護老人ホーム篠原の里(田中英樹施設長)で12日、同施設、篠原中央行政区(井上賢区長)、同市消防団雷山分団による、火災や自然災害

を想定した合同防災訓練が行われ、参加した133人は災害時の避難方法などを確認し合った。

同施設は同行政区で自然災害時の一次避難

所となっており、合同訓練は今回で3回目。

落んだという。

訓練では、職員が少ない夜間に施設2階の厨房から出火したと想定。施設利用者は、地域住民の誘導で避難経路を確かめながら中庭へ避難した。回を重ねるごとに動きがスムーズになり、全員の避難完了までの時間は昨年より5分短縮し7分

職員が負傷者役になった救助訓練や消火訓練、雷山分団員の放水訓練も行われた。

なく地震や風水害などの発生時にも対応できるよう、今後も訓練を重ねていきたい」と話した。

訓練を終えて井上区長は「災害は『自助』『共助』で7、8割方対応できる。地域でも消火器を準備し初期消火に努めることが大切」と講評した。田中施設長は「火災だけで

訓練を終えて井上区長は「災害は『自助』『共助』で7、8割方対応できる。地域でも消火器を準備し初期消火に努めることが大切」と講評した。田中施設長は「火災だけで



施設利用者と職員、地域住民が行った消火訓練

糸島新聞

地域と合同防災訓練

夜間出火を想定

篠原の里

糸島市篠原西の養護老人ホーム篠原の里(田中英樹施設長)で12日、同施設、篠原中央行政区(井上賢区長)、同市消防団雷山分団による、火災や自然災害

を想定した合同防災訓練が行われ、参加した133人は災害時の避難方法などを確認し合った。同施設は同行政区で自然災害時の一次避難

所となっており、合同訓練は今回で3回目。

訓練では、職員が少ない夜間に施設2階の厨房から出火したと想定。施設利用者は、地域住民の誘導で避難経路を確かめながら中庭へ避難した。回を重ねることに動きがスムーズになり、全員の避難完了までの時間は昨年より5分短縮し7分

済んだという。

職員が負傷者役になった救助訓練や消火訓練、雷山分団員の放水訓練も行われた。訓練を終えて井上区

長は「災害は『自助』『共助』で7〜8割方対応できる。地域でも消火器を準備し初期消火に努めることが大切」と講評した。田中施設長は「火災だけで

なく地震や風水害などの発生時にも対応できるよう、今後も訓練を重ねていきたい」と話した。



施設利用者と職員、地域住民が行った消火訓練